

1 研究主題

主体的に創造活動に取り組み、喜びを味わえる児童の育成

2 はじめに

本研究会では、学習指導要領の目標を元に、「思考力、判断力、表現力等」を働かせ、表したいことを考え、創造的な活動を楽しみながら技能面を育成することが重要であると考え、研究を進めている。本年度は、図画工作・美術科では、目標を達成させるためにどのような手立てを施せばよいのかを、多くの教員で考え、授業改善を目指していくことで、主体的に創造活動に取り組み、喜びを味わえる児童や生徒の育成に繋がると考えた。また、小学校では、図画工作が専門ではない教員が、図画工作を指導する上での不安も一定数いることから、各単元の授業研究をすることで、授業をするときに、少しでも自信をもって授業に臨めるようにしたいと考えた。

3 研究経過

(1) 図画工作科・美術科指導

ア 教員の苦手意識調査 (4/23)

イ 実践

教材研究① 版画

(5/14, 6/11, 7/9, 1/14予定)

教材研究② 競技会にむけて (9/10)

(2) 図工・美術競技会、教育展

ア アンケート実施 (4/23)

イ 教材研究 (9/10)

(3) 今年度の研究発表の検討

ア 教材研究 (5/14, 6/11, 7/9)

イ 県教研での発表内容検討会

発表者 小牧南小学校 松浦衣里

(5/14, 6/11, 7/9, 8/1 (小委員会のみ))

写真① 教材研究の様子



4 研究の概要

(1) 研究発表の内容に合わせた教材の研究をした。

(2) 教材研究として、学年ごとに同じ単元の作品を制作しながら、教材研究を行っ

た。（写真①）自分の授業、児童生徒や学校に合うように変え、それぞれの目的に合わせて実施した。効率よく作る手順、押さえておくべき点などは、中学校美術科の教員が中心となり助言した。

- (3) 図工・美術競技会、教育展に関する事前アンケートを実施し、昨年度までの実践で困ったことや改善したいことを抽出した。
- (4) 中間発表では、各自1部ずつレポートを作成し、小グループで学び合った。そのあと、各代表が発表し、評価方法や評価基準のあり方について全体で共有した。（写真②）
- (5) 県教研での発表に向け、授業や評価について研究や検討を行った。8月21日に岡崎市総合学習センターにて研究発表を行った。（写真③）
- (6) 令和8年度からのメナード美術館と中学校での共同企画に向け、学芸員との検討を継続し、小委員を中心に今後も企画の準備をしていく予定である。（写真④）

5 今後の課題

教育研究会で、中学校の教員からの実技指導の助言や他校との意見交換は大いに参考となり、技能のレベルアップにつながった。

また、県教研での発表のテーマに沿って、主体的に活動するための手立てを考えながら教材研究を行ったことは有意義な時間であった。今後も様々な面から手立てを考え、試行錯誤することで自分の思いを表現できる喜びを、どの単元でも味わわせたい。

今後も、教材研究と評価実践を重ね、児童生徒の喜びを味わわせるための授業を目指し、

教員の力量向上につなげていきたい。さらに、今年度の研究に引き続き、令和7年度の愛日教研の発表に向けての研究や検討、令和8年度からのメナード美術館との共同企画に向けても話し合いを重ねていきたい。また、令和7年度から市教育展の会場変更に伴い、展示方法等の検討もしていきたい。

写真②教育研究会での発表の様子



写真③ 県教研の様子



写真④ メナード美術館との打ち合わせの様子

